

試合番号 : 303		試合会場 : SAGAアリーナ				観客数 : 7,355				
開始時間 : 12:05		終了時間 : 13:44		試合時間 : 01:39		主審 : 佐々木 伸子		副審 : 林 淳一		
久光スプリングス		通算 2勝 0敗 ポイント : 6		25 第1セット 17		トヨタ車体クインシーズ		通算 0勝 2敗 ポイント : 0		
監督コメント	相手に関係なく、自分たちのバレーをしていこうと意気込んで、今日の試合に臨みました。トヨタ車体さんのサーブに苦しめられる場面が多かったですが、ラリーを展開していく中で、自分たちのリズムに持っていくのはよかったです。チームとして、試合・セットを重ねることによって、この調子で来週もしっかり準備していきたいです。連日7000人近くのファンの皆さんの前で試合できたことに感謝します。皆さんの応援が力になりました。引き続き、久光スプリングスの応援よろしくお願いします。			3	25 第2セット 12		0	監督コメント	たくさんの方の前で試合ができたことに感謝したいと思います。本日のゲームでは粘り強く戦えなかったことと、自分たちのオフェンスが通らなかったことが敗因となりました。この2連敗の悔しさを来週のゲームまでに立て直し、目の前の試合を全員で全力で戦えるように準備をしたいです。本日も応援ありがとうございます。まだまだリーグ戦は始まったばかりです、切り替えて戦いますので来週もよろしくお祈りします。	
					25 第3セット 18					
					第4セット					
					第5セット					
要約レポート										
第1セット、先に主導権を握ったのは久光スプリングス。長岡、アダムスのスパイクで徐々に点差を広げる。トヨタ車体クインシーズもファンヘッケの連続ブロックで追いつきを見せるも、久光のサーブが効果的に決まり、久光のペースで試合が進む。中盤以降、平山のブロックや途中出場の吉武の活躍もあり、そのまま久光がセットを先取した。第2セット、長岡のジャンプサーブやアダムスのスパイクで連続得点を挙げ、序盤から久光がリードした展開に。トヨタ車体は2枚替えで反撃を試みるも、久光の組織的な守備を崩すことができない。久光は大竹の速攻や長岡のフェイントなど多彩な攻撃でトヨタ車体を突き放し、大差でセットを連取した。第3セット、勢いに乗った久光は序盤からサーブが走り、トヨタ車体をリードする。久光はセッター一歩の的を絞らないトワークでトヨタ車体を翻弄し、さらに点差を広げる。一矢を報いたいトヨタ車体は鍋谷を投入するが、久光は最後まで攻撃の手を緩めることなくトヨタ車体を圧倒し、開幕戦2連勝を飾った。										

試合番号 : 304		試合会場 : SAGAアリーナ				観客数 : 7,355				
開始時間 : 15:05		終了時間 : 16:35		試合時間 : 01:30		主審 : 富田 博一		副審 : 江口 祐一郎		
埼玉上尾メディックス		通算 0勝 2敗 ポイント : 0		15 第1セット 25		JTマーヴェラス		通算 2勝 0敗 ポイント : 6		
監督コメント	本日もメディックスへのご声援ありがとうございます。ストレート負けはとても悔しいです。しかしながら、劣勢の場面でも勇氣と忍耐力をもって戦ってくれた選手達を誇りに思います。この悔しさを成長の糧にできるように更に団結します。これからも変わらぬご声援を宜しくお願いします。			0	19 第2セット 25		3	監督コメント	本日もたくさんの応援ありがとうございます。今日の試合も誰が出てでも活躍できるように、全選手がしっかりと準備をして試合に臨みました。相手の粘り強いディフェンスに苦しめられる時間帯はありましたが、全員で最後まで攻めて勝ち切れたことは良かったです。今日の試合はスタートからサーブでストレスを与え、ブロックもいい場面が出たこと、ディフェンスも相手のスパイクを粘り強く拾うことができたことが良かったと思います。次戦に向けてしっかりと準備をして、全員で戦っていききたいと思います。2日間熱い応援ありがとうございます。引き続き応援よろしくお願いします。	
					22 第3セット 25					
					第4セット					
					第5セット					
要約レポート										
第1セット、序盤からJTマーヴェラスはサンティアゴ、ドルーズのブロックポイントで流れをつかみ、怒濤の7連続得点でリードを奪う。埼玉上尾メディックスは、中盤に岩崎の巧みなトワークで食らいつづけるが、JTが主導権を譲ることなく、第1セットを先取する。第2セット、JTは競り合った展開から林の強烈なスパイクで一歩前に出るも、そのままリードを広げる。埼玉上尾はロゾ、目黒のスパイクで応戦するが、JT林、途中出場の和田の活躍により、勢いが衰えない。最後はサンティアゴのクイックが決まり、JTが第2セットを連取した。第3セット、序盤から互いに一歩も譲らない攻防が続いたが、埼玉上尾が権田のブロックポイントでリードを奪う。中盤JTは林のブロックポイントで同点に追いつき一進一退の展開を見せる。終盤でJT目黒、ドルーズのサーブが決まり、リードを奪うとそのまま流れに乗った。最後は林のスパイクが決まり、JTが開幕2連勝をあげた。										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -		
監督コメント					第2セット			監督コメント		
					第3セット					
					第4セット					
					第5セット					
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -		
監督コメント					第2セット			監督コメント		
					第3セット					
					第4セット					
					第5セット					
要約レポート										